

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【公表番号】特表 2005-534521 (P2005-534521A)

【公表日】平成 17 年 11 月 17 日 (2005.11.17)

【年通号数】公開・登録公報 2005-045

【出願番号】特願 2004-504742 (P2004-504742)

【国際特許分類】

**B 4 2 D 15/10 (2006.01)**

**B 4 4 F 1/12 (2006.01)**

**G 0 2 B 5/18 (2006.01)**

**G 0 2 B 5/28 (2006.01)**

**G 0 2 B 5/32 (2006.01)**

【F I】

B 4 2 D 15/10 5 3 1 B

B 4 2 D 15/10 5 0 1 P

B 4 4 F 1/12

G 0 2 B 5/18

G 0 2 B 5/28

G 0 2 B 5/32

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 7 日 (2006.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基体の表面に貼付可能であり、前記基体の真正性または品質を保証するための転写フィルム式のストリップ形セキュリティー素子であって、間に照明または視角に応じて変化する光学的效果をもたらす少なくとも 1 つの光学効果層および/または光学効果構造体を備えた少なくとも 2 つのプラスチック層またはラッカー層を有して成るセキュリティー素子において、

前記光学効果層 (13) および/または光学効果構造体 (15) が、明確に区分され、相互に離間した少なくとも 2 つの視覚的可変表面領域 (11、12、12') に配され、

前記ストリップ (7、7') の視覚的可変表面領域の外部が、透明、および/または照明あるいは視角に応じた光学的变化を示さず、および/または使用に際し前記ストリップ (7、7') が貼付される基体 (1、1') の表面 (2、2') の外観に調和していることを特徴とするセキュリティー素子。

【請求項 2】

前記光学効果層が、照明または視角の変化に応じて色彩の変化をもたらす干渉層配列 (13) から成ることを特徴とする請求項 1 記載のセキュリティー素子。

【請求項 3】

前記干渉層配列 (13) が、一部が透明である少なくとも 1 つの吸収層および少なくとも 1 つの透明誘電体スペーサー層を有して成ることを特徴とする請求項 2 記載のセキュリティー素子。

【請求項 4】

前記光学効果構造体（１５）が、光の回折効果をもたらす構造体であることを特徴とする請求項１～３いずれか１項記載のセキュリティ素子。

【請求項５】

観察方向（１４）から見て、前記光学効果層（１３）または光学効果構造体（１５）の前方に配されている前記プラスチック層またはラッカー層（９）が透明であり、反射強化層が前記光学効果層（１３）または光学効果構造体（１５）の後方に配されていることを特徴とする請求項１～４いずれか１項記載のセキュリティ素子。

【請求項６】

前記反射強化層が反射金属層であることを特徴とする請求項５記載のセキュリティ素子。

【請求項７】

前記反射強化層が、観察方向（１４）から見て前方に配されている層より屈折率が著しく異なる透明プラスチック層またはラッカー層であることを特徴とする請求項５記載のセキュリティ素子。

【請求項８】

前記ストリップ（７、７'）の視覚的可変表面領域（１１、１２、１２'）の外部に模様（１８）が施されていることを特徴とする請求項１～７いずれか１項記載のセキュリティ素子。

【請求項９】

前記ストリップ（７、７'）の前記模様（１８）が、該ストリップ（７、７'）が貼付されている基体（１'）の表面（２'）の模様と一致していることを特徴とする請求項８記載のセキュリティ素子。

【請求項１０】

前記模様（１８）が２つのプラスチック層またはラッカー層（９、１０）間にも施されていることを特徴とする請求項８または９記載のセキュリティ素子。

【請求項１１】

前記模様（１８）が印刷によって施されていることを特徴とする請求項８～１０いずれか１項記載のセキュリティ素子。

【請求項１２】

前記セキュリティ素子（６'）を成す前記ストリップ（７'）が前記基体（１'）に貼付された後に、前記模様（１８）が施されることを特徴とする請求項８～１１いずれか１項記載のセキュリティ素子。

【請求項１３】

前記模様（１８）が、前記ストリップ（７'）および該ストリップ（７'）を担持している基体（１'）の表面（２'）に同時に施され、前記ストリップ（７'）および前記基体（１'）の表面（２）に連続して延び、前記ストリップ（７'）の少なくとも１つの縁部（８'）において整合していることを特徴とする請求項８、９、１１、または１２記載のセキュリティ素子。

【請求項１４】

前記視覚的可変表面領域（１１、１２）が簡単な幾何学的形状を成していることを特徴とする請求項１～１３いずれか１項記載のセキュリティ素子。

【請求項１５】

少なくとも２つの前記視覚的可変表面領域（１１、１２、１２'）が、異なる幾何学的形状を成していることを特徴とする請求項１～１４いずれか１項記載のセキュリティ素子。

【請求項１６】

少なくとも１つの前記視覚的可変表面領域（１２'）が、１つの英数字（V、A、L、I、D）を表わしていることを特徴とする請求項１～１５いずれか１項記載のセキュリティ素子。

【請求項１７】

全体で１つの概念（VALID）を構成する、それぞれ英数字を示す複数の前記視覚的可変表面領域（１２'）を有して成ることを特徴とする請求項１５または１６記載のセキュリティ素子。

【請求項１８】

請求項１～１７いずれか１項記載のストリップ形セキュリティ素子（６、６'）を有して成る有価証券であって、前記セキュリティ素子（６、６'）の前記視覚的可変表面領域（１１、１２、１２'）および/または前記模様（１８）が、表面（２、２'）の印刷または別の構成要素（３、４、５）に整合させて貼付されていることを特徴とする有価証券。